

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光政策課（内線：7221）→事業実施：国際観光推進課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)国境を越えた広域観光推進事業(韓国江原道との連携事業)	2,549	0	2,549				2,549	
トータルコスト	4,163千円(前年度0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	DBS国際貨客船を利用し県内宿泊を伴う修学旅行のモデルコース及びPR資料の作成、県外及び韓国の旅行会社及び学校関係者への売り込み、修学旅行に係るバス代支援補助金事務							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便、DBS国際貨客船、国際チャーター便等を活用して外国人観光客の誘致を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

昨年6月の環日本海航路(DBS国際定期貨客船)就航や、今年3月の鳥取自動車道(県内区間)の開通により、鳥取県は「北東アジアのゲートウェイ」としての機能がさらに充実したところ。これらの交通インフラの観光面での活用を一層進めるため、韓国江原道をはじめとする海外諸地域の関係機関と連携した「新しい観光ルートの開発」「観光情報の発信」「旅行会社等への働きかけ」を積極的に行い、両地域の滞在客増加及び環日本海航路の利用促進を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

項 目	事業費	内 容
韓国江原道との共同モデルコース作成	740	<ul style="list-style-type: none"> DBS国際定期貨客船を利用した韓国江原道と鳥取県(又は山陰)がセットになった観光モデルコース開発(韓国江原道との共同作業) 同モデルコースのPR資料作成(韓国江原道との共同制作) <p>*重点ターゲット…日韓双方の修学旅行・教育旅行</p>
モデルコースの販売促進	809	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社、学校、団体等へのモデルコース(PR資料)配布 日韓双方の旅行会社担当者や学校関係者を対象にした視察旅行の実施(招致人数)延べ30名程度
修学旅行・教育旅行への支援	1,000	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行、教育旅行が催行された場合のバス代支援(支援対象)鳥取県内での宿泊を伴う観光の移動に要するバス代(支援内容)バス1台につき5万円を上限として実費を旅行会社へ支給 <p>*韓国江原道内では、別途江原道の支援制度を適用</p>
合 計	2,549	

3 これまでの取組状況

DBS国際定期貨客船就航後、日韓双方の旅行会社に旅行商品造成の働きかけを行った結果、双方で旅行商品が造成され、一定の送客実績につながった。